

授業科目名 (英文名)	経営学特講 (物流産業論) (経営学部 ・ 専門科目) (Logistics Industry)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	兒山 真也 日本マテリアル・ハンドリング協会	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>目的：企業経営にとって、大きな関心事となっている「物流・ロジスティクス」を基礎から始めて、先進的な企業の実例を踏まえて紹介することにより、キャリア形成の可能性について学生自身が考えられるようにする。</p> <p>目標：「物流・ロジスティクス」の基礎知識を身に付けてもらうことにより、企業入社時に必要な「物流・ロジスティクス」の理解を深め、学生の視野を拡げてもらう。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容：企業研修でも使われる 3 級テキストの内容に沿って、より企業の実例を交え、わかりやすく基礎から「物流・ロジスティクス」を実務経験豊富な講師（日本マテリアル・ハンドリング協会加盟の専門家）により紹介する。</p> <p>授業計画：</p> <p>第 1 日 第 1 講：オリエンテーション / 物流業・MH 業の産業概論 第 2 講：物流の概念と物流管理</p> <p>第 2 日 第 3 講：物流サービス管理 第 4 講：物流システム管理（YKKAP の事例）</p> <p>第 3 日 第 5 講：ロジスティクスの概要 第 6 講：ユニットロードシステム</p> <p>第 4 日 第 7 講：輸送 第 8 講：輸配送システム</p> <p>第 5 日 第 9 講：在庫管理・物流コスト管理 第 10 講：物流政策と関連法規</p> <p>第 6 日 第 11 講：保管概論と物流システム事例 第 12 講：搬送概論と物流システム事例</p> <p>第 7 日 第 13 講：包装の基礎 第 14 講：パレットの基礎知識とレンタルの仕組み</p> <p>第 8 日 第 15 講：まとめ / 企業の物流紹介 / 終講</p> <p>全 15 講を隔週にて開催、カリキュラムは一部変更となる可能性あり</p> <p>（第 16 講：定期試験）</p>		
テキスト	各講義で配布する資料を主教材とする。		
参考文献	中央職業能力開発協会（編）、社会保険研究所（発売元）『ロジスティクス管理 3 級 第 3 版』『ロジスティクス・オペレーション 3 級 第 3 版』をサブテキストとする（図書館にあり）。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準：経済学部及び経営学部の規程に基づく。</p> <p>成績評価の方法： 授業参加 10% 参加態度，授業での発言なども考慮</p>		

	リアクションペーパー60% 期末試験(定期試験期間中) 30%
履修上の注意・履修要件	授業の予習、復習のみならず、中央職業能力開発協会が実施する3級の試験にも、是非挑戦してください。
実践的教育	該当する。 全ての授業を「物流・ロジスティクス」に関する実務経験が豊富な講師（日本マテリアル・ハンドリング協会加盟の専門家）が、先進的な企業の実例を踏まえて実施することから、実務経験のある教員による実践的教育に該当する。
備考	